

## 令和3年度第2回秋田県入札制度適正化推進委員会の概要について

- 1 日時 令和4年1月25日(火)午前10時から
- 2 場所 秋田地方総合庁舎6階 605会議室
- 3 出席者 委員長 石田英憲  
委員 及川洋 千葉一明  
加納静佳 安保和仁

### 4 議事

#### (1) 報告事項

##### ① 県発注工事に係る入札・契約手続の運用状況について

－ 質疑・意見等なし －

##### ② 指名停止等の運用状況について

－ 質疑・意見等なし －

#### (2) 審議事項

##### 抽出案件① 《警察本部：運転免許センター・交通機動隊外構工事 DLC-EX》

及川委員 全体的な工事内容としては「土木一式工事」に該当すると思うが、なぜ「建築一式工事」で発注した理由を教えてください。

担当課所 (警察本部) 当該工事における建築部分としては駐輪場のみであるが、別で発注している運転免許センター庁舎本体の建築工事を含め、全体的に工程を管理しながら当該工事を施工する必要があることから、「建築一式工事」として発注したものである。

及川委員 小規模な駐輪場を施工するために、鉄筋コンクリート造等の工事を元請として完成させた実績や、一級建築士や一級建築施工管理技士の配置を求めるのは過大な参加要件と思うが、どうか。

担当課所 当該工事で施工する駐輪場は鉄筋コンクリート造の建築物であるため、このような実績を求めた。また、技術者については、「秋田県条件付き一般競争入札実施要綱」に基づき、配置を求めたものである。

及川委員 過大な参加要件を付したため、入札参加業者数が少なかったのではないか。

担当課所 そのようにも考えられるが、参加要件については、県建設部における発注を参考にしながら設定したものである。

及川委員 警察本部独自ではなく、県全体でこのような参加要件を付して発注を行っているということか。

事務局 県の営繕工事においては、外構の中に、総合的な調整のもとに建築物を建設する工事がある場合は「建築一式工事」として発注しており、それに応じた参加要件を付している。

千葉委員 建築一式工事であれば、総合評価落札方式の評価項目の中に「主要材料の製造・施工の管理体制」や「県産木材の活用」を入れるべきであると思うが、当該工事において、それらの項目を除外しているのはなぜか。

事務局 特記仕様書において「県産木材を使用すること」を求めているため、総合評

価落札方式の評価項目にはしていない。

技術管理課長 「主要材料の製造・施工の管理体制」については、自社のコンクリートプラントやアスファルトプラントを所有している場合に加点となる。当該工事は、現場でプラントをつくることはないため、評価項目にはしていない。

千葉委員 総合評価落札方式の評価項目のうち、「若手又は女性技術者の育成」等の技術者に係る項目の配点が12点であるのに対し、当該落札業者は3点程度しか取っていない。入札参加要件で一級技術者の配置を求めていたり、発注金額のわりには、当該点数が低いと感じた。

及川委員 入札参加要件で一級建築士の配置を求めているが、総合評価落札方式の評価項目のうち、「配置予定技術者の保有資格」が0点である理由を教えてください。

担当課所 配置予定技術者が構造設計一級建築士の資格を保有する場合に2点の加点となるものであるが、当該資格を保有していなかったため、加点にならなかった。

#### 抽出案件② 《秋田地域振興局建設部：大規模特定河川工事 02-KG20-31》

安保委員 低入札価格調査を経て受注する場合は、通常の配置技術者に加え、さらにもう1名を増員して配置しなければならないということか。

担当課所 その通りである。  
(秋田建設部) 当初の配置予定技術者に求められる要件と同一の要件を満たす技術者1名を増員配置しなければならない。

及川委員 入札参加業者の「辞退」は、どの段階で発生したものであるか伺いたい。

担当課所 入札書の受理開始から受理期限までの間である。

加納委員 低入札価格調査を経て受注する場合、技術者の増員配置のほかに受注者に求めることはあるか。

担当課所 現場監督の頻度を増やすこと、履行保証の割合を1割から3割に増やすこと、前払金の割合を4割から2割に減らすこと、低入札受注を繰り返した場合に指名差し控えを行うことなどがある。

千葉委員 当該工事において、総合評価落札方式を採用していないのはなぜか。

担当課所 技術的難易度がそれほど高くない工事であったため、採用しなかった。

#### その他

及川委員 抽出案件①に関連して、「土木一式工事」と「建築一式工事」の振り分けの見直しを、ぜひ検討していただきたい。

建設部次長 同様の議論はこれまでもされてきたが、今後、改めて工種の選定の考え方を検討していきたい。

千葉委員 全国的に、CCUS（建設キャリアアップシステム）や賃上げに対するインセンティブ措置を導入するところが増えてきているが、秋田県において、総合評価落札方式の評価項目に追加する予定はあるか。

技術管理課長 総合評価落札方式の次回改定に向け、追加を検討しているところである。

建設政策課長 令和5・6年度適用建設工事入札参加資格審査において「賃上げの状況」及び「CCUSの事業者登録の状況」等に係る評価項目を追加することとした。